学校運営協議会 議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	青竹 二郎

開催日時	令和2年12月2日(水)14:30~16:30
開催場所	府立高槻北高等学校 2階 会議室
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲委員、丹家 敬委員、中村利久子委員 柏原泰和委員、石山浩二委員
出席者(学校)	青竹二郎(校長)、伊藤倫隆(教頭)、岩下幸司(事務長)、 本村眞章、相澤 崇、安田正彦、藤塚雅弘
傍聴者	0人
協議資料	<p>冊子資料</p> <p>第1回学校運営協議会次第／委員名簿ならびに本校出席者一覧 令和3年度使用教科書採択一覧 学校運営協議会 実施要項 教育委員会に対する意見書等(様式集) 第1回学校運営協議会 議事録</p> <p>別資料</p> <p>1 令和2年度 学校経営計画及び学校評価 2 新型コロナウイルス感染症による影響、今年度の新たな取り組み、来年度状況 3 大阪府立高槻北高等学校ホームページバナー広告募集について 大阪府立高槻北高等学校広告等掲載要項 4 相互授業見学バディシステム 5 大阪府公立中学校卒業生数推計 6 令和2年度 学校教育自己診断生徒用集計結果 7 令和2年度 学校教育自己診断生徒用集計自由記述 8 令和2年度 学校教育自己診断・授業アンケート質問項目 9 令和3年度使用教科書採択一覧表 「北高NOW(学校便り)」</p>
備考	

議題等(次第順)
<p>1 開会宣言(教頭) 会長・副会長の選出について(教頭) 第1回学校運営協議会が書面開催であったため、第2回協議会で改めて会長・副会長の選出を行い、 会長に米津俊司委員、副会長に本村康哲委員が選出された。</p> <p>2 開会挨拶(校長)</p> <p>3 本校の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度学校経営計画の進捗状況 (校長) ・新型コロナウイルス対策 (校長) ・今年度の新たな取り組み (校長) ・令和2年度第1回学校教育自己診断結果について (本村首席) ・令和2年度第2回学校教育自己診断質問項目について (本村首席) ・令和3年度採択教科書図書一覧(教頭) <p>4 質疑応答、協議</p> <p>5 閉会挨拶(校長)</p> <p>6 閉会宣言(教頭)</p>

協議内容・承認事項等(意見の概要)

4 質疑応答、協議

米津委員長が進行役を務め、各自の自己紹介の後にフリーディスカッション形式で議事進行を行った。

(委員)コロナ対応は中学校も高校と同様に進めている。

長期的にみれば小学校の初年度からコロナ禍の影響があり、低学年の生徒が5年10年後に中学生、高校生になった時に、コロナの影響がどのように現れてくるかを心配している。

(委員)

3年生の音楽の授業に和太鼓部の方との有意義な交流ができた。生徒が非常に喜んでおり両校の交流を今後も継続していきたい。

同じ時間帯に両校の生徒が下校している。北高生が圧倒的多数であるので、交通マナー及び自転車通学生のこととも考慮に入れ、南門も開放し下校させている。

(委員)学校でのコロナ対策等の取組について、情報発信を今後ともお願いしたい。

(委員)高校の情報提供の周知方法を知りたい。

(委員)コロナ禍以前に比べて、不登校の生徒数が増えているのかどうか。

この状況での個別対応や資料作成などを家庭へ持ち帰り仕事をされているのではないかと、また、土曜日を休んでの授業日数をクリアーすることについても気になっている。

(委員)大学では3月から協議し、4月から授業が開始された。現在では、この状況下で対面及び遠隔授業を両立させ、毎回アンケートを取りながら行っている。アンケート内容のなかで学生の不満をどう吸い上げるかが難しく思っている。文科省の対面授業の方針と、GIGAスクール構想の「多様な学び」の機会を増やし多く取り入れることが大事である。

(委員)コロナ禍での学校生活の不满等がアンケートにどう表れてきているのか。

(学校)→コロナ禍でご家族が参加しない形で体育祭と文化祭の行事を行った。

修学旅行も沖縄方面から和歌山に変更したが、生徒にとっても思い出多き旅行であった。

学校生活のなかで内面はわからないが、一部生徒が不安に思っているものの、通学に関してはほとんどの生徒が自転車通学をしており通学途上でのコロナの不安はないのではないかと。

コロナ禍の影響で保護者の経済的な不安を感じ、生徒が教員側に伝えてこないまま自分で抱え込んでしま

まう

ことを心配している。

(委員)国立大学を目指す生徒はともかく、私立大学への進学を希望している生徒について、コロナの影響で保護

者の経済的な負担を考え、進学を迷っている生徒が必ずいる。その気持ちを受け止められる教員の気持ちと配慮が

必要ではないか。

(学校)→情報発信について

・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、メールマガジン等で夜間、土曜日、休日の緊急連絡先アドレスを配信している。

・「ほけんだより」保健部の教員がタイムリーな内容を、紙媒体で生徒及び保護者に配付し、また、教室にも掲示している。

・相互授業見学パディシステムについて

異なる科目担当者が授業見学に行き、授業の中身よりも授業の進め方を重視し、その中で様々な対話が生まれている。また、年齢の高い教員の授業には中堅クラスの教員を、中堅クラスの教員の授業に

は

若い教員をペアとして組んでいる。

(委員)学校教育自己診断(自由記述)09.人権の男装女装に関する記述について、納得できる記述があった。今後我々が共通認識を高めながら生徒に接していくべきである。

(学校)→教員としても注目すべき記述であると認識している。生徒の人権に対する認識の高さを再認識した。また、このような認識を持つ生徒を育成していきたい。

(学校)

- (委員) 第1回の協議会で意見として述べたように、ICTを活用した授業について今後は活用の中身も分析していく必要がある。
- ・資料8 学校教育自己診断(教員用)のアンケートの質問項目4の「授業内容の効率化」と「教材等データの共有化」は別物である。また、個人が作成した教材のデータは個人の持ち物にせず他の教員も使用し、教材のデータを一から作成することを無くし、データを積み重ねて蓄積していくことが大事である。
 - ・資料8 学校教育自己診断(生徒用)のアンケートの質問項目Bに掲載はないが、生徒が予備校及び塾に行き勉強している時間が何時間あるのか高校としても知っておく必要がある。
- (委員) GIGAスクール構想も進んでおり、来年の2月末に生徒一人に一台のパソコン(タブレット)が各教室に設置されることが予定されている。今後教員がICTを活用する能力向上が求められ、生徒がICTを活用した授業をどのように作っていくか考えなくてはならない時代が来ている。
- (学校) →ICTを活用した授業の充実を図っていくよう中高の連携・小学校との連携を強化し、更にICTのバージョンアップした使い方出来るよう研究していき、システムを作り「多様な学び」につなげていきたい。
- (委員)(学校) 挨拶運動等を継続していく方向で意見交換がなされた。

以上

次回の会議日程

日時	令和3年1月末を予定（後日日程調整を行う）
会場	府立高槻北高等学校 1階 校長室